

第307回 役員会議事要録

- 1 日時 平成23年 4月18日(月) 15:00~16:30
- 2 場所 特別会議室
- 3 出席者 遠藤学長
藁科総務担当理事, 江羅財務・施設担当理事, 神田教育・学生担当理事,
加藤研究・産学連携担当理事, 大河原社会連携・情報担当理事
[陪席]
井口監事, 北川監事, 花田学長特別補佐, 南條学長特別補佐,
野口総務部長, 奈良岡総務課長, 齊藤企画課長, 池田人事課長,
浅利財務企画調整役, 古館総務課課長補佐, 鳥潟総務・秘書G係長,
工藤予算企画G係長

4 配付資料

- 資料1 平成23年度科学研究費補助金 交付内定状況一覧
- 資料2 「平成23年度大学改革シンポジウム」及び「平成23年度防災・日本再生シンポジウム」の募集について(通知)
- 資料3 「国立大学フェスタ2011」の実施及び活動計画書の提出について(依頼)
- 資料 丸井清泰初代学長記念碑建立に関する検討委員会報告【審議後回収】
- 資料 産学官連携推進委員会における検討課題(案)
- 資料 大学等における産学官連携活動をめぐる動向(概要)

学長から, 4月4日開催の第305回役員会議事要録(案)の確認が行われ, 承認された。

5 審議事項

- 審議1 農学生命科学研究科の改組について
藁科理事から, 平成23年4月12日開催の教育研究評議会で審議・了承された農学生命科学研究科の改組について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。
- 審議2 教育活動推進のための提言について
神田理事から, 平成23年4月12日開催の教育研究評議会で審議・了承された提言について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。また, 今後, 冊子として取り纏め, 全教員に配付する予定である旨の発言があった。
- 審議3 弘前大学教育推進室規程の制定について
神田理事から, 平成23年4月12日開催の教育研究評議会で審議・了承された規程の制定について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。
- 審議4 弘前大学安全保障輸出管理について
加藤理事から, 平成23年4月12日開催の教育研究評議会で審議・了承された件について, 規程の制定を行うこと等の説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。
- 審議5 丸井清泰初代学長記念碑建立に関する検討委員会報告について
学長から, 資料に基づき, 検討委員会での審議経過及び検討結果として, 記念碑の建立について積極的に建立すべき意見がなく否定的な意見が大勢を占め

たこと、また、昨今の社会情勢を考慮し、大学として慎重に対処すべきであり、建立について社会的な理解を得るのは困難であるとの結論に至ったことの報告があった旨の説明があり、審議の結果、委員会報告を了承し、5月10日開催の教育研究評議会に報告することとされた。

この報告書に関して、丸井初代学長の大学創設における多大な功績が評価されていないこと、フロイトの「精神分析入門」の翻訳を行う等、研究者・教育者としての学問的な業績が考慮されていないこと、冤罪判決の誘因のひとつになった精神鑑定に関することが結論に至る主な判断材料となっていること等の意見があった。

4 報告事項

報告1 震災への対応について

神田理事から、被災した新生生に対して書籍を配付すること、被災地に本学学生がボランティアとして参加することに対して助成する予定であること、被災した他大学の学生の受け入れにあたり、所属大学の要請の有無について検討していること等の報告があった。

また、加藤理事から、被災した大学の研究者に対して機器分析センターの機器等を無償で提供すること、また、若手研究者に対して研究室等研究環境の無償提供について検討していること等について報告があった。

報告2 平成23年度科学研究費補助金 交付内定状況について

加藤理事から、資料1に基づき、現在の内定状況について報告があり、今回の内定状況に関しては、一部の研究種目について、基金化の制度改正のための国会審議中のため未定である旨の説明があった。

5 その他

(1) 「平成23年度大学改革シンポジウム」及び「平成23年度防災・日本再生シンポジウム」の募集について

学長から、資料2に基づき、「大学改革シンポジウム」及び「防災・日本再生シンポジウム」の募集について説明があり、本学も検討のうえ応募する旨の発言があった。

(2) 「国立大学フェスタ2011」の実施及び活動計画書の提出について

学長から、資料3に基づき、「国立大学フェスタ2011」の実施概要及び昨年度の本学の実績について説明があり、今年度も活動計画書を提出する旨の発言があった。

以上